

## 新学習指導要領(小中高)における地学分野の指導内容の検討 : 1. 小学校

著者	清水 睦美
雑誌名	静岡地学
巻	38
ページ	19-23
発行年	1978-11-12
出版者	静岡県地学会
URL	<a href="http://doi.org/10.14945/00025616">http://doi.org/10.14945/00025616</a>

## 新学習指導要領 (小中高) における 地学分野の指導内容の検討

昭和 51 年 12 月 18 日の教育課程審議会の「小学校、中学校及び高等学校の教育課程の基準の改善について」の答申にもとづく「小・中学校学習指導要領(案)」が翌 52 年 6 月 8 日に発表された。すでに、各学校では、移行期間中、あるいは完全実施された際の年間指導計画の作製に取り組まれていることと思うが、今回、西部支部では、自分の担当だけでなく、小中高を通して指導内容をとらえておくことは、今後の授業実践のために有益であると考え、小中高で協力して、新旧学習指導要領の中から地学分野のみをひろい出し、考察をこころみることにした。

### 1. 小 学 校

清 水 睦 美\*

#### (1) 新学習指導要領の特徴

- 直接経験や自然を調べることを重視し、高度の科学的知識が必要なものや、直接経験しにくいもの、材料の入手がむづかしいもの等はカットされた。
- 自然を愛する豊かな心情を培う。
  - ・ 低学年 「～を理解させる」 → 「～に気付かせる。～を味わわせる」  
低学年では系統性をそれ程重視していない。理解させることより、経験させることが主である。A (生物とその環境)、B (物質とエネルギー)、C (地球と宇宙) と各分野別に区分されていたが、新指導要領はこの様な区分はされていない。
  - ・ 中高学年 「～を理解させる」 → 「～を調べ、～を理解させるとともに、～を(育てる。興味を持たせる。関心を深める。)」現行と同様、ABC分野別に区分されている。

#### (2) 各学年の内容の比較と考察

現 行 学 習 指 導 要 領	新 学 習 指 導 要 領	備 考
[第1学年] 1. 目標 (3) 太陽が地面を明るくしたり、暖めたりすることを <u>理解させる</u> 。	1. 目標 (2) 身近な自然の事物・現象に <u>親しませ</u> 、それらを見たり試したりさせて、事物・現象の著しい特徴に <u>気付かせる</u> ようにするとともに、自然に接する <u>楽しさを味わ</u> わせる。	○現行においても、内容の取り扱い(1)に「遊びなどを通して親しみやすい自然の事物、現象に直接はたらきかけ、それらの著しい特徴を全体的、直観

\* 浜北市立新原小学校

<p>2. 内容</p> <p>C-(1) 日なたと日かげの暖かさや、地面の様子などの違いは、太陽と関係あることを理解させる。 ア. イー略</p> <p>(2) 石には、いろいろ違うものがあることを理解させる。 ア. 石には、色・形・大きさ・かたさ・手ざわりなどに違いがあること。 イ. 石には、大きさや形が違って、色・模様・手ざわりなどに似たものがあること。</p>	<p>2. 内容</p> <p>(第2学年へ)</p> <p>(7) 晴れた日や雨の降る日に、空や地面の様子を見たり、雨水、氷などを使った活動を工夫したりさせながら、天気によって地面の様子に違いがあることに気付かせる。(第2学年より)</p> <p>(8) いろいろな石を集めたり、石を使った活動を工夫したりさせながら、石には、色、形、手触りなどに特徴があることに気付かせる。</p>	<p>的にとらえさせると共に「……」としている。 低学年においては、「工夫した活動」を重視している。</p> <p>○合科指導の配慮</p>
<p>[第2学年]</p> <p>1. 目標</p> <p>(3) 日中の明るさ、暖かさは、太陽の動きや雲、雨などに関係があることを理解させる。</p> <p>2. 内容</p> <p>C-(1) 太陽の通り道を理解させる。 ア. イ. ウ 略</p> <p>(2) 雲が日光をさえぎると、日中の明るさ、暖かさが変わることや、雨の降り方や雨水の流れによって、地面の様子が変わることを理解させる。 ア. イ. ウ 略 エ. 雨水は流れたり、たまったりして地面の様子を変えること。 オ. 略</p>	<p>1. 目標</p> <p>(2) 第1学年とほぼ同じ</p> <p>2. 内容</p> <p>(第4学年へ)</p> <p>(8) 日なたと日陰の地面の様子を比べて、地面の温かさ、乾き方、水の温まり方などに違いがあること及び日陰の位置は太陽の動きによって変わること気付かせる。(第1学年より)</p> <p>(第1学年へ)</p> <p>エ は第4学年C-(2)へ</p> <p>(9) 砂と土と水を使った活動を工夫させながら、砂や土の手触り、固まり方、水のしみ方、水の中に入れたときの沈む様子などに違いがあることに気付かせる。(第3学年)</p>	<p>○第1学年同様、現行の理解させる、に対して、事物、現象に親しませ、特徴及び変化の様子に気づかせるとともに、自然に接していく楽しさを味わわせるとしている。</p> <p>新内容</p>
<p>[第3学年]</p> <p>1. 目標</p> <p>(3) 月の動きや太陽による地面の暖まり方、土の性質などを理解させる。</p> <p>2. 内容</p> <p>C-(1) 月の形や動きは、太陽と似ていることを理解させる。 ア. イ. 略</p>	<p>1. 目標</p> <p>(3) 土、水及び空気の温度の変化並びに天気の様子を調べ、それらの特徴及び変化を理解させるとともに、それらの身近な自然現象についての関心を深める。</p> <p>2. 内容</p> <p>(第4学年にまとめられる。)</p>	

<p>(2) 日光による土や水の暖まり方を理解させる。</p> <p>ア. 日なたと日かげでは、土や水の温度に違いがあること。</p> <p>イ. 日なたの土や水の温度は、日光の当たっている時間の長さによって変わる</p> <p>こと。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>(3) 土の性質や、水との関係を理解させる。</p> <p>ア. イ. ウ 略</p> </div>	<p>C-(2) 土、水及び空気の温度を調べ、温度は日光の当たり方などによって違い、また季節によっても違いがあることを理解させる。</p> <p>ア. ほぼ同じ</p> <p>イ. 土及び空気の温度は、晴れの日と曇りの日とで違いがあること。</p> <p>ウ. 土、水及び空気の温度は、夏と冬とで違いがあること。</p> <p>⇒(第2学年へ)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>(1) 空の様子などを調べ、雲などによる天気の変化を理解させる。</p> <p>ア. 雲及び風の様子は、1日のうちでも、また日によっても変わる</p> </div>	<p>○現行より複雑な組み合わせになっている。また、何回かに分けて扱う必要が生じた。</p> <p>—新内容</p>
<p>〔第4学年〕</p> <p>1. 目標</p> <p>(3) 地表における流水のはたらきや、地表を取り巻いている空気の暖まり方と太陽との関係、また地球から見た星の動きを<u>理解させる</u>。</p> <p>2. 内容</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>C-(1) 星の並び方は、時間がたっても変わらないことを理解させる。</p> <p>ア. イ. ウ 略</p> </div> <p style="text-align: center;">第2.3学年より ⇒⇒</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>(2) 空気の温度の1日の変化を理解させる。</p> <p>ア. イ. ウ. エ 略</p> </div> <p>(3) 川原の様子は、流水と関係があることを理解させる。</p> <p>ア. 川原の様子は、川上と川下では違いがあること。</p> <p>イ. 川原の石や砂などは、おもに川上から流されてきたものであること。</p> <p>ウ. 流される石や砂の大きさや量は、流水の速さや水量に関係があること。</p> <p>エ. 流水のはたらきで川岸や海べなどの様子が変わる</p>	<p>1. 目標</p> <p>(3) 川の水などの流れる様子及び太陽や月の動きなどを<u>調べ</u>、流水のはたらき並びに太陽や月の形及び動きを<u>理解させるとともに</u>、それらの自然現象についての<u>関心を深める</u>。</p> <p>2. 内容</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>C-(1) 太陽や月の見え方及び位置の変化を調べ、1日の動きが似ていることを理解させる。</p> <p>ア. イ. 略</p> </div> <p>⇒(第5学年へ)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>C-(1) 太陽や月の見え方及び位置の変化を調べ、1日の動きが似ていることを理解させる。</p> <p>ア. イ. 略</p> </div> <p>⇒(第3学年 C-(2)へ)</p> <p>(2) 雨水が地面を流れる様子及び川原や川岸の様子を調べ、流れる水のはたらきを理解させる。</p> <p>ア. 雨水及び川の水の流れは、土地を削ったり、石、土などを流したり、積もらせたりすること。</p> <p>イ. 川原や川岸の様子は、川の水の流れの速さや水量によって変わる</p>	<p>○現行では、天体気象、地質を各学年で扱っているが、新指導要領では3年で気象、4年で天体と気象、5年で天体、6年で気象、地質となっている。</p> <p>浸食、運搬、堆積作用を、ほぼ従来通り扱えば良い。</p>
<p>〔第5学年〕</p> <p>1. 目標</p> <p>(3) 太陽や星は、北極星を中心にして動い</p>	<p>1. 目標</p> <p>(3) 星の動きを調べ、動きのきまりを理解</p>	

<p>て見えること、また風や流水のはたらきで地表の様子が変わることや、長い年月の間にはその変化が大きくなることを理解させる。</p> <p>2. 内容</p> <p>C-(1) 天頂や北の空、南の空の星の動きを理解させる。</p> <p>ア. 北の空の星は、北極星を中心にして、同じ方向に回っていること。</p> <p>イ. 太陽の通り道付近に見える星は、太陽と動きが似ていて、北の空の星と同じ方向に回っていること。</p> <p>ウ. 太陽や星は、1日たつともとの位置にくること。</p> <p>(2) 風の吹き方によって、気温が変わることがあることを理解させる。</p> <p>ア. 風の吹く向きや強さは、1日のうちでも、また、日によっても違うこと。</p> <div data-bbox="236 1010 667 1167" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>イ. 風の吹き方、雲の様子などによって、気温が変わることがあること。</p> <p>ウ. 風の吹き方によって、空気の湿りに違いが起こること。</p> </div> <p>(3) 地層の重なり方や地層をつくるものの特徴に気づかせ、それらを流水と関係づけて理解させる。</p> <p>ア. イ. ウ 略</p>	<p>させるとともに、天体の現象を時間の経過及び空間の広がりで見ようとする態度を育てる。</p> <p>2. 内容</p> <p>C-(1) 星の明るさ、動きなどを調べ、星は相互の位置を変えないで、一定の動きをすることを理解させる。</p> <div data-bbox="743 562 1145 775" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ア. 星には、明るさや色の違うものがあること。</p> <p>イ. 星の集まりは、時間がたつと位置が変わるが、並び方は変わらないこと。(第4学年から)</p> </div> <p>ウ. 太陽の通り道の近くに見える星は、太陽と似た動きをすること。</p> <p>エ. 北極星の周りの星は、北極星を中心にして回っているように見えること。</p> <p>オ. 星は、同じ方向に動き、1日たつとほぼ元の位置に見えること。</p> <p style="text-align: right;">(中学へ)</p> <p style="text-align: right;">(第6学年へ)</p>	<p>高学年でも、活動を通しての理解、さらにその態度化まで期待している。</p> <p>現行の4年の内容と合わせて指導することになっている。</p>
<p>[第6学年]</p> <p>1. 目標</p> <p>(3) 太陽や星の動きで、地球が自転していると考えさせたり、太陽の高度の変化と地表の暖まり方とを関係づけたりさせる。また、地球の内部の様子と関係する火山活動も、地球の表面を変える力をもつことを理解させる。</p> <p>2. 内容</p> <div data-bbox="236 1800 667 2051" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>C-(1) 地球の形や動きを理解させる。</p> <p>ア. 月は太陽の光を受けている球体であり……………。</p> <p>イ. 地球は太陽の光を受けている球体であり……………。</p> <p>ウ. 星は北極星を中心として……………。</p> </div> <p style="text-align: right;">(中学へ ウは第5学年で扱う。)</p>	<p>1. 目標</p> <p>(3) 地層の様子及び太陽の動きや地表の温度の変化を調べ、水及び日光が地表に及ぼすはたらきを理解させるとともに、自然現象を時間の経過及び空間の広がりで見ようとする態度を育てる。</p> <p>2. 内容</p>	<p>5.6年は、週4時間が、週3時間に減る。</p>

